

【1 分解説】脱ドル化とは？

取締役 総合調査部長 石附 賢実

脱ドル化とは、国際取引や中央銀行の外貨準備において米ドル（以下、ドル）への依存を減らし、他の通貨の利用や金の保有を増やす動きを指します。ウクライナ侵略に伴うロシアへの経済制裁のインパクトもあって、中露を中心にドルへの依存から脱却したいとの強い動機があります。

BRICS の場においては、2023 年 8 月の首脳会議の声明で、各国の財務大臣や中央銀行総裁に対して現地通貨や新たな決済手段の利用拡大についての報告を求めるなど、具体的な取り組みを進めようとしています。

しかし、現時点ではドルに匹敵する国際的な利用度と信頼性を持つ通貨は限られており、脱ドル化は容易ではないでしょう。世界の外貨準備高のシェアをみても、ドルは減少傾向にあるものの 2024 年 3 月時点で 58% 余りを占めており、人民元の 2% とは比べるべくもありません。そして、多くのグローバル・サウス（中露以外の途上国）は、ドルを中心とした国際金融システムから敢えて離れる必要性も感じていません。新しい決済手段の選択肢が増えることは歓迎しつつも、脱ドル化を進める動機は中露ほどにはないといえます。

非・西側の結束を誇示したい中露を中心に、今後、BRICS の場では「脱ドル化」のイニシアティブが成果として強調されていくと思われそうですが、ドルの強さは当面揺らぐことはないでしょう。

関連レポート

・「不正選挙と暴力の代償～岐路に立つ民主主義、Freedom House 年次報告からパワー・バランスを紐解く～」(2024 年 4 月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/333644.html>